

附属中だより



令和3年12月
第10号

茨城県内で各種コンクールが実施され、本校生徒もそのいくつかに参加しました。

本校は、複数の部活動に参加することが可能です。また、毎日活動していない部活もあるため、放課後や休日は、それぞれの興味・関心に応じた活動している生徒も少なくありません。高校受験を気にせずに、部活動はもちろん、様々な活動に打ち込める環境が整っています。今回は、各種コンクールでの生徒の活躍をお知らせいたします。

いばらきものづくり教育フェア

創造アイデアロボットコンテスト茨城県大会（制御部門）

—茨城県教育委員会教育長賞（**第1位**）—

チーム：SHAKURA 2年 中村 優乃助さん 福澤 慶太さん

—茨城県教育研究会会長賞（**第2位**）—

チーム：飛竜 2年 鈴木 悠心さん 谷川 友太さん 浅野 泰雅さん

創造アイデアロボットコンテスト関東甲信越大会（計測制御部門）

—**準優勝**—

2年 中村 優乃助さん 福澤 慶太さん

—**アイデア賞（第3位）**—

2年 鈴木 悠心さん 谷川 友太さん 浅野 泰雅さん

LEGOブロックをベースに組み立てたロボットで2チームが参加。急遽参加を決めたため、県大会までの準備期間は約1ヶ月しかありませんでしたが、日々、ロボットの構造やプログラムを練り直し、安定したパフォーマンスで、11月13日の県大会を1位、2位で通過。12月5日に行われた関東甲信越大会でも2位、3位となりました。

新型コロナウイルスの影響で、いずれの大会もオンライン開催となり、慣れた場所での競技ではありましたが、競技前には「ああ、緊張する。」と、練習では見られなかった表情の5人。それでも、初出場でありながら、その都度自己ベストを更新しての入賞を果たしました。全国大会に出場できる関東甲信越ブロック代表3チームのうち、なんと、2チームが竜一附属中という快挙です。

（詳細はこちら <http://gikaken.com/index.html>）

現在、1月22日の全国大会に向け、プログラムやロボット本体に改良を加えています。関東甲信越大会までは、コース上の障害物を避ける動きが不安定で、直進のみで勝負しましたが、全国大会では、スピードを上げたり、障害物を避けたりする方法を考え、さらに高得点を狙っていきます。



モニターを見つめ、結果発表を待つ5人。



全国大会出場を決め、笑顔でVサイン！

いばらきものづくり教育フェア

児童生徒作品コンクール



—茨城県教育研究会家庭、技術・家庭教育

研究部長賞受賞（**第4位**）—

2年 池田 美那さん

技術の授業で作成した本棚での受賞です。写真では斜めの天板がついていますが、天板は取り外しができ、外したときには棚の背面に収納できるという優れものの。ニスも繰り返し丁寧に塗り重ね、表面はなめらかに輝いています。



税に関する作文コンクール



—竜ヶ崎税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞—

「税を気持ちよく支払うために」 2年 山口 楓さん

自分も支払っている消費税の使われ方について調べ、「税金は、私達自身の安心かつ豊かな生活のために支払っている」ということを具体例を挙げながら述べています。

アンサンブルコンテスト 中学生部門県大会出場

2年 五頭 京香さん 高石 蒼太さん 中村 梨花さん
吉田 篤矢さん

1年 入江 悠生さん 大塚 萌愛さん 茂木 結生さん
福田洋介作曲「三日月のシャンソン」を演奏し、県南地区大会では、出場109団体の中から16位で代表に選ばれました。現在は、12月18日に行われる県大会に向けて練習に励んでいます。



小学校の先生方へ

12月3日に入学願書の受付を終了いたしました。先生方には、調査書の作成、出願後の本校からの問合せへのご対応等、ご多用のところお手数をおかけいたしました。

いよいよ1月8日が入学者選抜、1月19日が合格者の発表となります。発表はインターネットのみで、小学校からのお問合せにはお答えできませんのでご了承ください。

なお、保護者に配付してある「入学者選抜実施要項」に入学者の手続きについて掲載されています。（28ページ参照）合格した場合、またしても先生方のお手を煩わせることとなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/gakkou/koukou/nyuusi/r4/0712-3/index.html>

お問合せ 0297-62-2146

（竜ヶ崎一高附属中 教頭 内川）